

学びのストーリー

第1次「海の命」を読んで、感想を交流しよう。①

- ◎単元扉から、物語の内容について想像し、登場人物の関係やその生き方について考えるという学習の見通しをもつ。
- ・太一と、きれいな海の話かな。
- ◎全文を通読し、心に強く残ったところや人物の言動に疑問を抱いたところ、話し合って確認したいところなどを共有する。
- ・太一はどうして「瀬の主」を打たなかったのだろう。
- ◎物語の設定や展開を確かめる。
- ・登場人物は、太一、父、与吉じいさ、母の4人。クエは登場人物に入るのかな。

第2次 登場人物の人物像を捉えよう。それぞれがどのように太一の成長に影響を与えたのだろう。②③④

- ◎叙述を基に、「父」、「与吉じいさ」、「母」の人物像を捉え、太一の生き方にどのような影響を与えたのかを考える。
- ・父は、大物をしとめても自慢しなかった。謙虚な人なのかな。
 - ・「千びきに一びきでいいんだ。」という言葉や、毎日同じ数しか魚をとらないことから、与吉じいさは、海の命や海を守る人。
 - ・母は、「夜もねむれないよ。」という言葉から、心配性だけど、愛情あふれる人だと思う。
- ◎叙述を基に、「瀬の主」の様子を捉え、「瀬の主」と対峙した太一の心情やその変化について考える。
- ・太一は、憧れていた父を破った瀬の主を打つことが「本当の一人前の漁師」と考えていたと思います。
 - ・それなら打てばいいのに、どうして太一は泣きそうになったんだろう。
 - ・打ちたいと思っていたけど、与吉じいさの教えを受けて、本当に打っていいのかという葛藤が生まれたんじゃないかな。
- ◎太一が「瀬の主」をもりで打たなかったわけや、「海の命」が表すものについて、考えを交流する。
- ・与吉じいさの命を大切にすることを思い出し、自分がやろうとしていることを考え直したんじゃない。
 - ・父の死をずっと悲しんでいる母の姿を思い出し、これ以上母を悲しませたくないと考えたと思う。

第3次 それぞれの人物の生き方について、自分の考えをまとめよう。⑤⑥

- ◎それぞれの人物の生き方について、自分の考えをまとめる。
- ◎まとめたものを基に、グループで話し合い、意見や感想を共有する。
- ◎単元を振り返り、学習をまとめる。

願う子どもの姿

- ・人物の関係性や生き方に着目しながら読む姿
- ・各場面での太一の心情や見方・考え方の変化について、他の人物との関わりと結び付けて想像する姿
- ・読んで理解したことに基づき、登場人物の生き方や考え方につて、自分の考えをまとめて共有し、自分の考えを広げることができる姿

授業デザイン

自己調整

題名「海の命」や、太一に起こりそうな出来事について、想像を膨らませ、これまでの学習を振り返り、登場人物の関係や生き方をどう読み取っていくのか確認する。

手立てや概念

登場人物の主人公との関係については、図に表し、視覚的にとらえやすいようにまとめる。

響き合う

疑問点や話したいことを共有し、学習問題を作る。

手立てや概念

登場人物の人物像については、叙述に基づいて考えるように声を掛ける。また、後に主人公との関係を考えるときにも使うことができるよう、後に残す。

響き合う

「瀬の主」と対峙したときの主人公の心情の変化については、まず十分に自分の考えをもつ時間をとる。話し合うことで、主人公の葛藤に気づくことができるようにし、次時の「なぜ打たなかったのか。」という学習課題につなげるようにする。

手立てや概念

円グラフを使用し、主人公の心情の変化にはどの人物がどのくらい影響を及ぼしているのかを考えながら、「なぜ打たなかったのか」について考えることができるようにする。

高め合う

それぞれの人物にの生き方について考えたことを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする。

評価規準・評価方法

【学びに向かう姿・人間性等】

登場人物の生き方に着目して自分の考えを広げることに、進んで取り組もうとしている。（発言・記述）

【知識・技能】

語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、人物を表す語や語句を使っている。（発言・記述）

【思考・判断・表現】

叙述を基にして、それぞれの人物像と相互関係について想像している。（発言・記述）

【思考・判断・表現】

叙述を基にして、瀬の主と太一との関係性の変化について、他の人物との関わりとを結び付けて想像している。（発言・記述）

【思考・判断・表現】

主人公の心情や見方、考え方の変化を捉え、それをもとに自分の考えをもち、表現している。（発言・記述）

【学びに向かう姿・人間性等】

登場人物の関係等に着目して自分の考えを広げることに、進んで取り組もうとしている。（観察・発言）

【思考・判断・表現】

登場人物の生き方について考えをまとめ、他者と考えを共有して、自分の考えを広げている。（発言・記述）

【学びに向かう姿・人間性等】

自分の考えを広げることに進んで取り組み、学習課題に沿って互いの意見を交流しようとしている。（観察）